

外耳炎



耳の病気で圧倒的に多いのが外耳炎です。これは外耳道に感染やアレルギーが起こって炎症ができる状態になります。夏に多い病気でしたが、最近では冬でも多くなってきています。原因として、暖房の前で暖まっている・毛布にくるまっている・室温が高いなどです。

また、一般には外耳炎の治療は1回、2回で終わるものではなく、継続的な治療が必要になります。

症状としては・・・

- ・耳アカがたくさん出る
- ・耳掃除をしてもすぐに耳が汚れる
- ・耳をかく
- ・耳だれが出る
- ・耳や頭を触ると嫌がる
- ・臭いにおいがする
- ・しきりに頭を振る
- ・耳がいつもより赤い
- ・頭を傾ける
- ・腫れている
- ・耳の穴が狭くなっている
- ・耳を地面や壁にこすりつける

・・・などの行動が見られます。

通常、元気で健康なペットちゃんには耳アカはほとんどたまりません。

耳アカがあれば不健康な状態、環境状態の問題と考えられます。

☆原因はさまざま☆

不健康で不潔な状態

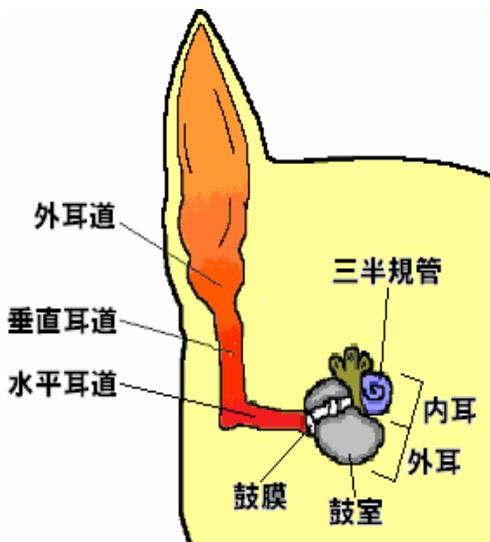
- ・寄生虫、ダニによる感染
- ・マラセチア(酵母菌)などのカビ
- ・内分泌障害
- ・真菌、細菌などの感染症
- ・自己免疫疾患
- ・腫瘍
- ・アレルギー(アトピー性皮膚炎や食事アレルギー、接触性アレルギー)

環境の問題

- ・室温が高い
- ・毛布にくるまっている
- ・暖房の前で過ごしている

☆耳のケアについて☆

ペットちゃんの耳掃除に綿棒を使う飼い主様が多いようですが、綿棒は皮膚を傷つけやすく、耳道の奥へ汚れを押し込んでしまったりなど、かえって炎症を悪化させ逆効果になる事があります。コットンにベビーオイル、または耳の洗浄液をつけ、耳の表面の汚れだけを拭き取ることをおすすめします。また、湿気のもりやすい垂れ耳のペットちゃんには、寝転んでいる時などに垂れ耳を伸ばしてやったり、散歩の時に休息がてら外気や日光に当ててあげましょう！



◎赤くなっている所が病変部です。



*** 日頃からペットちゃんの耳をよく観察し、チェックをかかさず行うことが第一の予防です!!**

自己判断せず、まずは病院に連れてきて下さい。

また、治療後も1から2ヶ月に一度の定期健診をおすすめします。☺

